

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)山科区柳辻西浦町計画	階数	地上7F
建設地	京都市柳辻西浦町 38-3,44-1,57	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域, 準防火地域	平均居住人員	174 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2019年2月20日
敷地面積	1,955.03 m ²	作成者	株式会社ユマ設計
建築面積	771.10 m ²	確認日	2019年2月20日
延床面積	4,225.30 m ²	確認者	株式会社ユマ設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ 温暖化影響チャート	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.3

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>Q1のスコア= 3.7</p>	<p>Q2のスコア= 3.2</p>	<p>Q3のスコア= 3.0</p>

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.4

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア= 3.6</p>	<p>LR2のスコア= 3.4</p>	<p>LR3のスコア= 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>建物利用者の快適な生活環境を維持するため、安全性の面からはF☆☆☆☆の内装材の使用し、耐用年数の高い建材を利用している</p>	<p>その他</p> <p>特になし</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>外皮性能を高め、住宅性能表示基準断熱等性能等級4取得F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に使用</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>情報社会に対応し、ゆとりある生活を確保できるよう大容量ブロードバンド設置し、耐用年数の高い建材を採用している</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>できる限り緑地を設けている</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明を採用し設備システムの効率化に配慮している</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>ノンフロン断熱材の採用やエコ製品の採用等環境保護に努めている</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率=70%</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される